

## 「岩手県庁ゲームノミクス研究会」趣意書

岩手県庁ゲームノミクス研究会（以下「研究会」という。）は、以下の取決めによって運営するものとする。

### 1 目的

平成 26 年度の岩手県庁 Ingress 活用研究会の成果を継承し、ゲームを広報メディアと同様の PR 媒体と位置付ける、ゲームコンテンツの一部を活用して本県の情報発信を行う等のゲームとのコラボレーションや、ゲームデザインの手法の活用による観光振興、地域活性化、地域社会への貢献等に関し、その可能性・有効性について調査研究を行い、その成果の発信、課題の試験的実践などを通じて岩手県の魅力の浸透、地域社会の発展、さらには参加メンバーの職員能力の向上を図ることを目的とする。

### 2 具体的な検討内容

- (1) 希望郷いわて国体・希望郷いわて大会を盛上げるための Ingress の活用
- (2) 県内各地における Ingress の活用に関連する諸活動、イベント等への支援
- (3) ゲームとのコラボレーションによる観光振興、岩手のイメージアップ、地域活性化等の県施策との連携に関する調査研究
- (4) ゲーミフィケーションの考え方を取り入れた地域社会貢献等に関する調査研究
- (5) ポップカルチャー、サブカルチャーの振興に関する調査研究
- (6) 上記の他研究会の目的を達成するためにふさわしいと考えられる調査研究

### 3 研究会の構成等

公募による有志職員で構成し、当分の間秘書広報室首席調査監が主宰する。メンバーの追加加入及び脱退等については、その都度協議する。

### 4 活動期間

平成 28 年度までとし、当該年度の終了時点で延長するかどうか検討する。

### 5 活動計画

#### (1) 研究会会議の開催

Ingress の活用に関する情報交換、メンバー自身の問題意識等による自主研究の発表、県の観光振興、地域活性化等の施策との連携、イベントの実施や協力等に関する検討等を内容とし、概ね 2 か月に 1 回程度の頻度で開催する。

#### (2) イベントの開催又は支援・協力

必要に応じ、ゲームとのコラボレーションイベントを企画、実施するとともに、要請があった場合は可能な範囲内でイベントの開催に係る支援・協力をを行う。

### 6 経費

活動に必要な経費については、原則として当該活動の都度参加メンバーにより精算する方法により支弁する。ただし、経費の性質によっては公費による負担を要請する場合がある。

### 7 留意事項

この取組みが、県として公的に特定のゲームで遊ぶことを推奨するものではないこと、当該ゲームの振興を図る目的を持つものではないことについて十分にアナウンスするものとする。また、ここに掲げたもののほか若者や女性の活躍支援、若者文化の振興など県が推進する施策との連携について十分考慮するものとする。

(平成 27 年 5 月 19 日 第 1 回研究会会議において協議により決定)